

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		神経病態生理学 I 研究		菱川 朋人
開講年次	共通/専攻/選択		単位数	
1~4	必須専攻		20	
目的				
(1) 脳卒中の病態と外科的治療方法の合併症を理解する。 (2) 神経病態生理学の基礎を理解する。 (3) 英語論文を抄読し、理解する。 (4) 統計の意義を理解し、統計学の基礎を説明できる。				
授業到達目標				
(1) 神経病態生理学の基礎を研究報告会で説明できる。 (2) 統計の有意差やその意義を説明できる。 (3) 英語論文を4年間で2編以上作成できる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月~金	8:00~8:30	菱川 朋人	脳卒中の病態と治療について
毎週	木	13:00~15:00	菱川 朋人	脳卒中の病態と治療について
毎週	火	13:30~14:30	八木 謙次	研究の立て方、統計解析の仕方について
毎週	火	16:30~17:00	村井 智	英語論文の読み方・書き方について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
(1) ひと月ごとの研究成果の報告に対して、指導・助言を行う。 (2) 中間発表の抄録作成時に指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9784765316675, 脳神経外科学, 太田富雄総編集 ; 川原信隆 [ほか] 編集, 金芳堂, 2016				
参考書				
ISBN-9784877942106, 脳卒中治療ガイドライン, 篠原幸人 [ほか] 編集, [脳卒中合同ガイドライン委員会], 2003				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 実習前に、教科書・参考書等を読み、約1時間程度の予習を行う。 (2) 毎週、履修手帳に研究計画・内容を簡潔に記載する。 (3) 研究終了後、その日のうちにデータを記録し、月1回指導者に提出する。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
(1) 卓越した研究成果をあげ、神経病態生理学の深い学識を獲得する。 (2) 学術研究が国民からの信頼、負託に応えるものであることを理解し、高い倫理観を身につける。				
注意事項・メッセージ				
(1) 大学院生として、神経病態生理学の勉強、実験に熱心に取り組んで下さい。 (2) 今回の研究結果が臨床応用可能となることが望まれます				